

第 6 回 IEEE 広島支部学生シンポジウム
HISS 第 2 回実行委員会議事録

日時：2004 年 8 月 1 日（日） 14：00～16：50

場所：島根大学総合理工学部 3 号館 1005 室（学科会議室）

出席者：

島根大学：山田，雲丹亀，西尾，森本，中本，上田，濱田

広島大学：松村

山口大学：松永，山谷

広島市立大学：中川

岡山大学：近藤

鳥取大学：楠神

教官：平川先生

議事：

1. 開会

2. 各委員会報告

2.1 総務

2.1.1 進捗報告

- ・協賛・後援依頼の進捗状況についての報告
(依頼書は完成しているが、まだ協賛・後援依頼はしていない)
- ・来賓のピックアップについての報告

2.1.2 質疑

来賓候補として、学生が来訪してくれだろうと思われる高校の校長先生はどうかという
意見が挙がった

2.1.3 今後の予定

八月上旬には協賛依頼を開始する。

2.2 財務

2.2.1 進捗報告

7月31日までの収入・支出報告。
(マツダ財団後援金の使用目的は高校生に対する体験学習のみ)

2.2.2 質疑

マツダ財団後援金の詳しい内訳について
(高校生をテクノアークしまねまで送るバス代等)

2.2.3 今後の予定

会計簿を作成して HP にアップすることにより委員会全体が収支状況の確認可能にする。
(昨年度：収支 150 万程度)

2.3 会場

2.3.1 進捗報告

・会場の下見の結果報告

[各施設の使用用途]

エントランスホール：受付

学生交流室：実行委員控え室

特別会議室：講演者控え室

展示交流ホール：TP 用、昨年の会場の 1/4 程度の面積

大会議室：110 名程度収納可能、パネルディスカッション

レストラン：30~40 名程度まで、時間帯をわけるなどの工夫が必要

(会場は飲食厳禁、全館禁煙のため、休憩所や喫煙所などのアナウンスが必要)

[備品について]

・パネルは外部から借りる(松江農林高校様より)

・長机、椅子、丸机は会場から借りることが可能、マイクもレンタル可(有料)

・使用電力(定格 20A)のため、PC、プロジェクターを使用する場合は会場にあらかじめ申請が必要。

・会場の見積もり金額の報告

2.3.2 質疑

・ TP 会場の狭さへの具体的な対策は？

TP 発表時間を 1 日や午前、午後で分ける等で対策

・ 食事はレストランだけでは対応できないことへの対応は？

弁当等の準備することで対応する。

2.4 講演

2.4.1 進捗報告

・基調講演のテーマの決定報告

「ユビキタスコンピューティングについて」

・ パネルディスカッションのテーマ

「ネットワーク社会の倫理観」

上記のテーマ名が若干硬いとの意見が多いため検討中。

2.4.2 今後の予定

- ・ パネラーの選定、交渉
- ・ テーマ名の再検討

2.5 論文・TP

2.5.1 進捗報告

- ・ 査読の先生方のリストアップの完了
去年して頂いた先生方を中心に依頼中
- ・ CFP 作成完了

2.5.2 質疑

論文概要の締め切りは 8 月 20 日だが期限が短いという苦情が来たときの対策は？
無理のない範囲で延期をすることにより対応
(提案：査読の先生に直接交渉できる実行委員の配置をしてはどうか？)

2.5.3 今後の予定

申し込み用のフォーマットの作成

2.6 広報・出版

2.6.1 進捗報告

- ・ CFP の配布状況報告
600 部印刷し中国地区の大学に 6 枚、その他に 5 枚、高専に 1 枚配布。
CFP 郵送数：大学 88 通、高専 36 通
(6 大学は第二回実行委員会後、参加委員が配布)
- ・ ポスターの状況報告
報告がまだ間に合わなかったため、報告見送り。
- ・ 印刷業者について
プログラム・論文集印刷見積もり：広島県内で行う予定
(島根県でするよりも、送料を含めても安くつくため。)

2.7 新企画

2.7.1 進捗報告

- ・ 新企画案について
予算、安全性、集客性の観点から光造形システムを使った案が最有力候補
茶碗、ストラップなどを来客者に作成してもらおう。リース料などはまだ不明。
(提案：島根の高校生がやっている実験とコラボが取れないかという、
テクノアークしまねの岩佐さんから提案。)
- ・ 企業展示について
テーマとしては良いが企業側からメリットが少ないのと、会場の面積が広くないため、
やらない方向に決定。
- ・ 研究室展示について

去年の反省を参考にして郵送ではなくメール、HP からダウンロード等の形式を予定。

3. 審議

3.1 新企画の具体案の決定について

提案：

- ・新企画、会場委員で会場を下見して討議する。

(新企画にとって会場で何をできるかが非常に重要なので、ともに下見する必要あり。)

- ・10月頃にテクノアークしまねでソフビ祭りをしている。研究棟が6棟ありそれぞれイベントをしている。それを参考にしては。

<新企画の優先順位として、まず高校生を集めることを優先として企業展示は次案とする>

3.2 高校生関連

高校生の交通手段としてのバスの手配は、新企画の内容が決まり次第、各高校に広報を行い、決定する。

3.3 論文の募集目標件数について

各大学25件の論文を目標として、各委員が研究室などを回り、お願いする。

3.4 基調講演のテーマについて

基調講演のテーマは「ユビキタスコンピューティングについて」で決定。

サブタイトルは講演者が決まってからつける予定。

4. 今後の予定

総務：協賛・後援依頼の開始

来賓者への来訪依頼

来賓の再リストアップ

財務：全体の収支把握のために会計簿の作成

論文投稿料システムの構築

各委員会でどのくらい予算をつかうかを話し合えるようにしたい。

会場：各委員会の必要な備品の数を確認するファイルの作成

施設開放のための下見を（新企画委員と一緒に）する。

会場のレイアウト作成(おおまかなもの)

レストランへの利用のお願い

講演：基調講演者のリストアップ&依頼

パネルディスカッションのテーマの決定

論文：論文申し込み要旨の完成

査読の先生への依頼

査読の先生への直接交渉をする委員の設置についての討議

広報：ポスター製作者のリストアップ

CFP の配布

HP の更新

新企画：会場委員とともに会場の下見をし、何ができるかを把握して新企画の決定

研究室展示に関する依頼方法

（昨年は郵送して予算がかかったのでメールなどを利用）

5.閉会

以上